



平成 28 年 5 月 25 日

各 位

会 社 名	株式会社ファステップス
代表者名	代表取締役社長 川嶋 誠 (コード番号 2338 東証第二部)
問合せ先	取締役管理部長 村山 雅経
T E L	03-5360-8998 (代表)

## 事業の現状、今後の展開について

当社株式は、平成 28 年 2 月において時価総額（月間平均時価総額及び月末時価総額）が 10 億円未満となり、株式会社東京証券取引所の上場廃止基準（上場時価総額）にかかる猶予期間に入りました。

これを受け当社は、事業の現状、今後の展開について、下記のとおり株式会社東京証券取引所に対し、同社有価証券上場規程第 601 条第 1 項第 4 号 a 本文に定める書面を提出いたしましたので、お知らせいたします。

本書面の提出により、平成 28 年 11 月 30 日までのいずれかの月において、月間平均時価総額及び月末時価総額が 10 億円以上になった場合は、上記の上場廃止基準に該当しないこととなります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には、大変ご心配とご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 事業の現状について

##### (1) 事業内容

当社グループは、当社（株式会社ファステップス）と連結子会社 4 社（株式会社ピーアール・ライフ、TM プランニング株式会社、エムアンドケイ株式会社、Plurecil Holdings Limited）により構成されております。

当社グループで行っております事業は以下のとおりであります。

##### ① システムソリューション事業（株式会社ファステップス）

お客様のビジネスを支える業務システムや、お客様とユーザーの接点となる WEB サイト・スマートフォンアプリ及びシステム運用に欠かせない業務支援や、それらを繋ぐネットワーク技術など全てにおいて、ご提案から製造、保守、管理まで提供しております。

また、近年では、スマートフォン向けの教育・学習サービスの提供に注力しており、スマートフォンの普及により更に発展が見込まれております。

②メディアソリューション事業（株式会社ピーアール・ライフ）

主要なテレビ局、ラジオ局、新聞社などの取引先をもち、広告代理業務を主業とする総合広告代理店であり、中でも各テレビ局との密接な関係を持ち、テレビCMの扱いが売上の大半を占めております。また、付随してテレビ番組等の企画、制作、イベント企画等を受託しております。

③コストマネジメント事業（TMプランニング株式会社）

3PL\*事業者として、単に荷物の配送を請負うのではなく、受発注からピッキング、在庫管理といった、物流に関する広範で総合的なロジスティクス業務を提供しております。特定の運送会社や倉庫会社と主従関係を持たないニュートラルな立場で、お客様の物流の現状を客観的に把握し、最適な物流ソリューションを提案しております。

また、経営マネジメントサービスを行っており、お客様のニーズを的確に捉え、企業経営のサポート、コスト削減等の提案をしております。

※3PLとは：企業の流通機能全般を一括して請け負うアウトソーシングサービス。自身は物流業務を手がけない企業が、顧客の配送・在庫管理などの業務を、プランニングやシステム構築などを含め長期間一括して請け負い、外部の物流業者などを使って業務を遂行する。物流業者に業務を委託するのとは違い、3PLは「荷主の物流部門」として振舞うため、複数の物流業者から最も荷主の利益にかなう業者を選択したり、荷主側の要望を物流業者と交渉したりといったことが可能となる。

④アイラッシュケア事業（エムアンドケイ株式会社、Plurecil Holdings Limited）

「まつげエクステンション」専門のプロ向け商材の販売、及びまつげエクステンションの施術者を育成するためのスクール事業を行うとともに、まつげエクステンション専門のサロンを運営しております。当サロンは、国内では「プロケアアイラッシュ」ブランドとして、海外では「PLURECIL（プルレシル）」ブランドとして日本全国だけでなく、海外からも高く評価されるトップブランドのひとつとして成長し続けています。

（2）業績の推移及び概況

①連結業績の推移

（単位：千円）

決算期	平成26年2月	平成27年2月	平成28年2月
売上高	5,615,404	8,532,940	9,322,673
経常利益(△損失)	△141,387	△97,880	22,873
当期純利益(△損失)	△92,371	△496,652	21,645
純資産額	1,532,999	1,281,627	1,360,120
総資産額	3,161,929	3,443,115	4,842,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	△82,404	△89,618	817,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,691	△131,770	△666,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	292,821	65,989	356,090

## ②単体業績の推移

(単位：千円)

決算期	平成26年2月	平成27年2月	平成28年2月
売上高	504,934	401,984	336,758
経常利益(△損失)	45,915	△352,344	△196,072
当期純利益(△損失)	49,877	△507,311	△161,975
純資産額	1,502,469	1,173,489	1,012,828
総資産額	1,613,222	1,429,949	2,663,297

## ③業績の概況

当社グループは、平成26年2月期、平成27年2月期と2期連続で当期純損失を計上してまいりましたが、平成28年2月期にて販売力の強化などにより黒字転換をする事が出来ました。また、前期において、不採算事業の見直しや切り離しを行い、今期以降は安定的に黒字を確保する見込であります。

## 2. 今後の展開について

### (1) 事業領域の拡充

#### ①システムソリューション事業

システムソリューション事業では、システム開発の割合が高く、特定の取引先に偏る傾向にあるために、営業範囲を拡大し、より多くの取引先にアプローチしてまいります。

また、アプリ開発やダウンロード販売については、資格取得のための学習系コンテンツに特化してまいりましたが、趣味嗜好に係るコンテンツを取扱うことによって、より多くのユーザーへ提供することによって、アプリ販売の割合を高めてまいります。

#### ②メディアソリューション事業

メディアソリューション事業が所属している広告業界は堅調に推移しており、今後も計画通り推移するものと見込んでおります。しかし競合他社との価格競争等により利益幅が僅少になっているため、営業努力や付加価値の向上により利益率の見直しを図ってまいります。

#### ③コストマネジメント事業

コストマネジメント事業では、消費税増税により、荷物の取扱量が減少してまいりましたが、徐々に回復傾向にあります。また、営業力を強化することにより、更に取引先の増加に努めてまいります。

#### ④アイラッシュケア事業

アイラッシュケア事業では、まつげエクステンションサロンの運営、美容商材の販売、施術者を育成するためのスクールの運営をより強化してまいります。安倍内閣では、女性の力を「我が国最大の潜在力」と捉え、成長戦略の中核と位置づけました。働く女性のス

テーマの一つであるファッションや美容にスポットをあて、自信と誇りを持って活躍できる女性が一人でも増えるよう「女性美」を作る手伝いに尽力してまいります。

#### (2) 収益性の向上

前期においては、スポット売上の影響により売上高が拡大しておりますが、今期はその反動減により、減収を見込んでおります。その減収幅が縮小するように、販売の強化に努めてまいります。また、売上原価や販売費及び一般管理費を更に見直すことにより、収益性の向上に努めてまいります。

#### (3) 財務面の改善

当社グループは、財務体質の改善のために、資産の処分等を行ってまいりましたが、今後より強固な財務基盤を確保するために、様々な資本政策を早急に講じることに努めてまいります。

### 3. 今後の見通し及び上場維持について

当社グループにおいては、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されますが、上記の取り組みにより、当連結会計年度の業績予想の売上高 6,000 百万円、営業利益 85 百万円、経常利益 110 百万円、当期純利益 65 百万円を達成し、今後も継続的に利益を確保してまいります。

これらにより、当社グループの企業価値向上を実現し、当社株式の月間平均時価総額及び月末時価総額について、株式会社東京証券取引所の定める基準を上回ることにより、今後も株式会社東京証券取引所に上場を維持するように努めてまいる所存であります。

以上